



中央小だより ザウルス通信

第16号

令和8年 2月 2日
発行責任者 神山 直樹



ザウルスキッズの会言葉

「**考える**」… しっかり「考える」本氣ザウルス
「**やりぬく**」… とことん「やりぬく」根気ザウルス
「**助け合う**」… 心から「助け合う」勇気ザウルス

子どもたちとのつながりを大切に！

いよいよ今年度の総仕上げの時期を迎えました。

先日の職員打合せでは、子どもたちと笑顔でいさつを交わしたり、じっくり話を聴いたりすることを大切にしながら、引き続き、一人一人に寄り添い、その子のよさや頑張りを認め励ましていくことを教職員全員で確認いたしました。

コロナ禍以降、社会全体で人間関係の希薄化が強く懸念されている中、また多様化・複雑化する社会の中で、安心感と「人とつながる力」を育んでいくことは必要不可欠です。

学校や家庭が、子どもたちにとって安心できる場所であるためには、そこにいる「人」の姿が重要であり、それが友達との関係や学校生活、将来の社会生活により良い影響を与えることになると考えます。

年度末まで残り2か月。子どもたちとの「つながり」を大切にしながら、学年のまとめをしっかり進めていきたいと思います。

1年生「昔あそびをしよう」



1月22日（木）に、地域に住む11名の方を講師にお招きし、1年生が生活科の学習で「昔あそび」を体験しました。

子どもたちは、地域の方々と楽しく交流しながら、おはじきやおてだま、メンコやコマ回し、だるまおとしなど、楽しい遊びをたくさん教えていただきました。みんな、時間を忘れててしまうほど、それぞれの遊びに夢中になって取り組みました。



今回の活動を含め様々な形で本校の子どもたちを見守り、一緒に活動してくださる地域の皆様の優しさや温かさに、心より感謝申し上げます。



読書活動&タブレットの活用 を推進中！



今年度の本校の重点取組の一つである読書活動。担任・図書館司書を中心に、たくさんの良書との出会いを通して、子供たちの豊かな心を醸成し、毎日の学校生活をより楽しく過ごせるよう、時機に応じて、いろいろ工夫しながら取組を進めてきました。また、学校支援ボランティアさんによる朝の読み聞かせを年

15回実施いたしました。それらを通して、子供たちの読書意欲は着実に高まってきています。

もう一つ、児童全員に貸与されている一人一台端末（タブレット）ですが、夏休み明けから、登下校時の負担軽減のため「必要に応じて家に持ち帰る」ことにしました。学校では、漢字・計算のドリル学習をはじめ、話合いや学習



の振り返り、運動時の動画撮影、アンケート調査など、様々な場で、ノートや定規などと同じ「文具」として活用しています。



併せて、情報機器を使う際のマナー、モラルについても考えさせる機会を設け、「使い方を誤ると、事件や事故に巻き込まれたり、友達を傷付けたりすることにつながる可能性がある。」という意識付けを図っています。

引き続き、各担当を中心に、本校としての重点取組を着実に進めてまいります。



フロアマットを寄贈いただきました！

冬休み明けまもない1月9日（金）の午後、宇都宮法人会馬場宮園支部長の関口様、社会貢献活動委員の田嶋様、そして業務推進課係長の星様がご来校され、室内用フロアマット（11枚）を寄贈いただきました。寄贈いただいたマットはすぐに各階の水道・トイレエリアに設置し、校内放送を通じて、今回の寄贈について全校生に伝えました。

これまでも、宇都宮法人会から簡易掃除機などを本校に寄贈いただいており、改めて心より感謝申し上げます。

寄贈品の活用を含め、本校児童が、安全かつ落ち着いて学習に取り組むことができる教育環境の整備・充実に努めてまいります。

